



《会いと合いの中で愛あふれる学校》

学校だより

上越市立下黒川小学校

第 8 号

令和4年 11月 1日発行

Tel.536-2467 FAX.536-6506

“スポーツの秋 文化の秋” 下小児童の活躍 光る

校 長 遠藤 俊幸

10月6日（木）、3年ぶりに上越市親善陸上競技大会が開かれました。感染症対策のため、残念ながら保護者の皆様の来場は控えていただきましたが、男子走り幅跳びで、小松 祐月さんが、記録412cmで優勝！先日開かれた表彰式では、全校児童から盛大な拍手が送られました。

今回の大会は、参加を6年生のみとし、種目数を減らし、半日日程で開催されました。当校では、体育の時間の中だけで工夫して練習に取り組みましたが、多くの児童が自己記録を更新するなど成果を上げました。

久しぶりの大会ということで、記録の低下を心配する向きもありましたが、前回大会（令和元年）の1位記録と比較しても、ほとんどの種目が同程度の記録で、男子の走り幅跳びやリレー、女子の100mでは上回っていました。部活動など、学校スポーツの在り方が話題になる昨今、陸上競技大会で精一杯走り、跳び、そして応援する児童の姿を見ながら、自由にスポーツを楽しむことの大切さを改めて考えることができました。



男子走り幅跳び優勝

小松 祐月さん

10月22日（土）、文化祭が開かれました。今年もダンスフェスティバルでは、各心班による熱いパフォーマンスが披露されました。軽快な音楽のリズムと共に、体育館いっぱい拍手の輪が広がり、演じる児童を後押しするパワーとなりました。大勢の保護者の皆様にご来場いただき、たいへんありがとうございました。

さて、このダンスフェスティバルに向けて、高学年は、下学年のお手本になれるよう、9月初めから自主練習を開始しました。10月からは全校練習開始。どの心班も高学年がリーダーシップを発揮し、日を追うにつれ、見応えのあるダンスを創りあげていきました。渡り廊下に掲示した、全校児童のメッセージを見ると、この二か月の児童の歩みを感じることができます。

「ダンス練習の時に、ていねいに教えてくれてありがとう。〇〇さんのおかげで、分からないところが分かりました。これからもよろしくお願いします。」

「1回目の練習はリモートだったけど、2回目の練習では、がんばって覚えてくれていて、うれしかったです。本番も練習のようがんばろうね。」

「よく考え積極的に実行してくれた、とてもすばらしい班長だと思いました。ほくも来年、〇〇さんのようにすばらしい班長になりたいです。」

ここに長く下黒川小学校で培われてきた「みとめあう まなびあう きたえあう」姿が在ります。まさに実りの秋・・・児童の成長にふれることができました。

「みんなと共に～元気・スマイル・楽しい文化祭～」



5. 6年生太鼓演奏「いさみ駒」「豊年太鼓」



ダンスフェスティバル



わくわくしあわせタイム



スマイルボウリング

輪投げ

ストラックアウト

フラ板

科学実験

バルーンアート

昔の遊び